

ぐるり39

～自治調査会だより～

2023

9

No. 120

[発行日]
2023.9.1



「裏見ヶ滝」という名は、遊歩道がこの滝の裏側を通っていて「滝を裏から見る」という珍しさに由来しています。

【写真提供】一般社団法人八丈島観光協会 【撮影場所】裏見ヶ滝

Contents 9月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年
・多摩東京移管130周年記念デジタルスタンプラリー… 2
・「#おしたま」受賞作品や多摩・島しょ地域39市町村の写真などの展示 …… 3
- ▶ シンポジウムを開催しました！
「その政策、住民に届いていますか？」
～行動変容を促すナッジを活用した社会課題解決～ …… 4
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
市町村の取組紹介 …… 5
国立市 くになち花と緑のまちづくり事業
福生市 第21回ふっさ環境フェスティバル～小さなECOが未来をつくる～
神津島村 神津島村緑化推進事業
- ▶ 多摩交流センターだより
・参加者募集 多摩の歴史講座 多摩の古代文化 …… 6
・2023年度広域的市民ネットワーク活動支援制度申請団体募集中 …… 7
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～八丈町～ …… 8



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開していきます。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

多摩東京移管130周年



東京都・
多摩
30市町村

多摩東京移管130周年記念デジタルスタンプラリー ～130個の宝物(たまらん)を探せ! たまトレジャーハント～

多摩全域をフィールドに歴史や文化、産業、グルメなど様々なおすすめスポット「宝物(たまらん)」を探すデジタルスタンプラリーを実施しています。

多摩地域の各所を巡り、たくさんのスタンプを集めると、豪華な賞品が当たる抽選会に参加できます。知ればもっと好きになる、多摩地域の魅力と出会ってみませんか。

参加方法

期間中、多摩地域各地のスポットに設置されたのぼり旗又はポスターに記載されているQRコードを、スマートフォン、タブレット等で読み取ることでスタンプが取得できます。

3箇所以上のスタンプを集めると、10月28日、29日開催の記念イベント会場にて抽選会に参加できます。集めたスタンプの数により抽選回数が変わります(最大10回)。

マスコットキャラクターがARで登場

スポットのQRコードを読み取ると、各市町村のマスコットキャラクターや「たまらんにゃ～(多摩の魅力発信プロジェクトマスコットキャラクター)」が画面に登場!一緒に写真撮影ができます。

撮影した写真は「#たま130」を付けて、Instagramにぜひ投稿してください。多摩の魅力発信プロジェクトInstagramのフォロー&投稿すると、抽選で30名様に「たまらんにゃ～」のぬいぐるみが当たります!(投稿期間:7月22日から10月29日まで)



「たまらんにゃ～」のぬいぐるみ

おすすめスポット

多摩30市町村全域に130箇所

※設置箇所の一覧、設置施設の個別の注意事項等は、「問合せ先」の特設サイトからご覧ください。

賞品内容

抽選で130名様に多摩地域の魅力を体験できる豪華賞品などが当たります。お楽しみに!

抽選日及び抽選会場

2023(令和5)年10月28日(土)・29日(日)

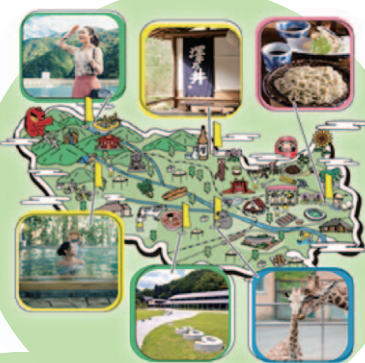
JR立川駅北口 サンサンロード

(多摩東京移管130周年記念イベント「超たまらん博」会場内)

※抽選時間はイベント開催時間に準じます。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

10月29日まで
開催中!



おすすめスポットのイメージ



賞品イメージ

問合せ先

多摩の魅力発信プロジェクト事務局 TEL: 03-5738-8904 (10:00～17:00)
特設サイト: <https://www.tama130.com/>



▲特設サイト

当調査会

「#おしたま」受賞作品や
多摩・島しょ地域 39 市町村の写真などの展示

9月5日※から東京自治会館の本館1階にて、多摩東京移管130周年記念フォトコンテスト「#おしたま」の受賞作品や当調査会が行った過去の調査研究を展示します。「#おしたま」の受賞作品については、専用ホームページ（「問合せ先」参照）でも公開していますので、是非ご覧ください。また、同フロアにて、多摩・島しょ地域39市町村の過去と現在のまちを比較した写真も展示します。多摩・島しょ地域の美しさや歴史、取組などを再発見できる展示となっています。

※開始日については、多少前後する可能性がございます。予めご了承ください。

1階
談話室

フォトコンテスト「#おしたま」受賞作品と調査研究ライブラリー展示

最優秀作品は多摩産材で作られたパネルスタンドに飾られます☆

「#おしたま」受賞作品がズラリ！



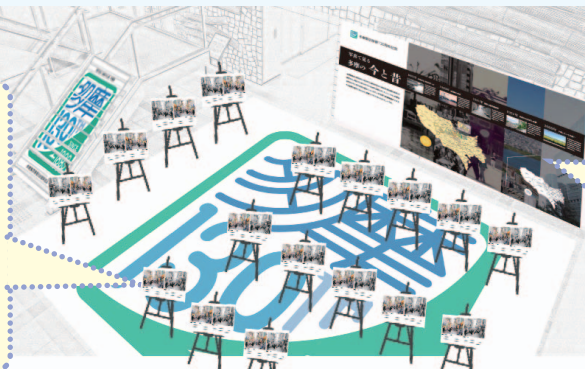
当調査会の調査研究ライブラリー展示

※画像はイメージです

1階
中央ホール

多摩・島しょ地域 39 市町村の写真展示

全39枚！
今と昔の比較パネル



多摩地域の130年を振り返る巨大パネル☆



※画像はイメージです

◆ 東京自治会館

【開館時間】 平日 8:30 ~ 17:15

〈アクセス〉

- ・ JR 中央線 / 武蔵小金井駅南口1番のりば
京王バス府中駅行き（学園通り経由または一本木経由）
「東京自治会館」下車（約10分）
- ・ 京王線 / 府中駅北口1番のりば
京王バス武蔵小金井駅行き（学園通り経由または一本木経由）
「東京自治会館」下車（約15分）



問合せ先

（公財）東京市町村自治調査会 総務課
TEL 042-382-0068 FAX 042-384-6057
調査会ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>
「#おしたま」専用ホームページ <https://tama130th.tokyo>



▲調査会



▲「#おしたま」

シンポジウムを開催しました！

「その政策、住民に届いていますか？ ～行動変容を促すナッジを活用した社会課題解決～」

【2023年7月21日 府中市市民活動センタープラッツ バルトホール】

当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。今回、昨年度に実施した調査研究の結果を踏まえ、自治体職員や住民の皆さんにナッジの活用やその効果について理解を深めていただくため、シンポジウムを開催しました。

1. 基調講演

はじめに、大阪大学感染症総合教育研究拠点特任准教授である佐々木周作氏による基調講演が行われました。ナッジの基礎知識や、実際の使い方、設計方法について、当シンポジウムの内容に係る基本的な考え方を解説していただきました。

2. 調査研究結果発表

続いて、当調査会が昨年度に実施した調査研究結果について、当調査会の元研究員である安本正義氏から発表をしていただきました。ここでは、多摩・島しょ地域自治体・職員・住民アンケートの結果に触れながら、多摩・島しょ地域自治体が取り組むべき方策について提言を行いました。

3. パネルディスカッション

最後に、自治体におけるナッジの活用について、より理解を深めることを目的に、3名の方に登壇していただきました。基調講演を行った佐々木氏がコーディネーター役となり、まず登壇者に各々の取組内容を紹介いただき、パネルディスカッションを行いました。

【第1部 自治体におけるナッジの活用の動向や課題】

- ①塩尻市税務課課長補佐の清水隆朝氏から「職員発案のナッジ理論活用について」として、現場職員発案のナッジ理論を活用した、住民税申告書に同封するチラシの改善事例を紹介いただきました。
- ②つくばナッジ勉強会の金野理和氏から「つくば市のナッジ取組事例とナッジ・ユニットの役割」として、つくば市のナッジ取組事例と、政策におけるナッジ設計の支援等を行うナッジ・ユニットの活動などを紹介いただきました。
- ③横浜市行動デザインチーム（YBiT）副代表の高木佑介氏から「ナッジに係る全国的な動向や自治体が共通して抱える課題」として、日本の地方自治体におけるナッジの浸透状況、自治体におけるナッジ活用の促進要因と課題などを紹介いただきました。

【第2部 自治体におけるナッジの活用に係る意見交換】

ここまでの講演や取組の紹介を踏まえ、より具体的なポイントを探るべく、意見交換を行いました。ナッジを設計・実践するうえでのポイント、必要なサポート体制など、多岐にわたるテーマで、自治体におけるナッジの活用について活発な議論となりました。

また、パネルディスカッションでは事前にいただいた来場者の質問に対し、各登壇者からそれぞれの知見を踏まえてお話しいただくなど、充実した意見交換が行われました。



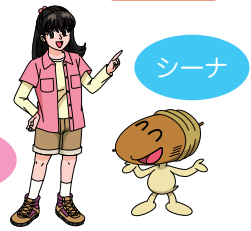
▲意見交換の様子



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介



かれん

シーナ

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。



① 国立市 くにとち花と緑のまちづくり事業

国立市では毎年2回、市のシンボルである大学通りの緑地帯や市内公園で、大規模な花植えを実施しています。特に大学通りの花植えでは、市民ボランティアが計画から実作業に至るまで、活動の中心となって取り組んでいます。昨年度は、数年ぶりに広く市民の参加を呼び掛けた結果、小さなお子さんを含めたくさんの方に参加いただくことができました。花植えを通じて、花と緑に関心を持つ方が一人でも増えるよう、市民協働の輪をさらに広げていきたいと考えています。

国立市では、今後も自然と人、人と人との絆がより深まるよう、本事業を推進していきます。

【問合せ先】 国立市 環境政策課 TEL 042-576-2111



② 福生市 第21回ふっさ環境フェスティバル～小さなECOが未来をつくる～

ふっさ環境フェスティバルは、環境について考えるきっかけづくりの場として、環境月間である6月に開催しているイベントです。

今年度は4日（日）に市民会館・福生公園で来場型イベントを開催し、様々な体験・見学ができる展示ブースや、リユース食器を利用したフードブース、葛西臨海水族園の移動水族館が出展されました。

さらに、6月中に『ふっさ環フェスマップ』を持って環境に優しい事業者等を訪ねると素敵な景品に応募できるスタンプラリーを実施しました。

【問合せ先】 福生市 環境政策課 TEL 042-551-1718



③ 神津島村 神津島村緑化推進事業

神津島村では緑化推進事業として、道路脇や観光地の一角を花壇として活用し、四季折々の花を植えています。

神津島に自生する植物や、雄大な景観に囲まれるスペースに四季折々の花々を植えることで、豊かな自然との一体感を演出し、その景観と融合することで、景勝地が何倍にも引き立てられます。ここを訪れる観光客や村民に、神津島の自然の癒しを実感してもらえらるような、心地良い空間となりました。

【問合せ先】 神津島村 産業観光課 TEL 04992-8-0011





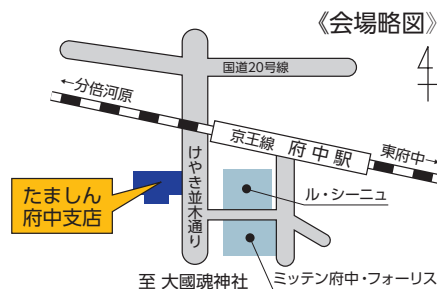
多摩交流センターだより

たましん地域文化財団・
東京市町村自治調査会共催参加者
募集多摩の歴史講座
多摩の古代文化

第26回

古代の多摩地域は現在の府中市を中心に古代武蔵国の行政・信仰・交通の中心地として栄えた地域です。近年、古代武蔵の代表的な遺跡が所在する府中市の周辺部からも多摩地域の奈良・平安時代を解明する手がかりが発見されています。

本講座では、多摩地域の新たな古代史像を探った各博物館の展示・調査成果について紹介します。また見学先である深大寺の歴史と境内の見所について、そして同寺に招来した東日本最古の国宝仏の来歴に隠された秘密を解説します。



第1講

10月10日(火) 13:30～15:30
古代武蔵と清瀬

講師：中野 光将 氏 (清瀬市郷土博物館学芸員)

第2講

10月24日(火) 13:30～15:30
古代大型四面廂建物跡しめんびさしたてものあとの発見

講師：宮本 涼子 氏 (日野市ふるさと文化財課学芸員)

第3講

11月7日(火) 13:30～15:30
古代多摩に生きたエミシの謎を追え

講師：堀越 峰之 氏 (帝京大学総合博物館学芸員)

第4講

11月21日(火) 12:45～15:15
見学会 深大寺の歴史と文化財 講師：竹村 到 氏 (深大寺教務部学芸員)
会場：深大寺本堂 (解説・見学は2班体制で実施します。)

第5講

12月5日(火) 13:30～15:30
深大寺の白鳳仏と渡来人高麗福信こまのふくしん 講師：荒井 秀規 氏 (明治大学兼任講師)◆場 所 多摩信用金庫府中支店4F会議室(京王線府中駅南口徒歩2分)
※第4講のみ 深大寺(調布市深大寺元町5-15-1)

◆参加費 無 料

◆申込方法 記入例を参考に往復はがきで1人1枚でお申し込みください。

◆申込締切 2023年9月25日(月) 当日消印有効

◆定 員 75名(定員を超えた場合は抽選となります。)

◆申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係

◆問 合 せ

《講座内容について》 たましん地域文化財団 TEL 042-574-1360

《お申込みについて》 多摩交流センター TEL 042-335-0100

★本講座のオンライン配信

講座終了後、講演内容を編集し「多摩の歴史講座ONLINE」を配信する予定です。

はがき記入例

往復はがき

返信表面	往信裏面
氏名 自分の住所	●多摩の歴史講座 受講希望 ①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢・性別 ④電話番号

住所・
氏名を
忘れずに!!

～活動支援制度を活用して広域的な市民活動に取り組んでみませんか？～

募集中

2023年度 広域的市民ネットワーク 活動支援制度申請団体

当調査会では、多摩地域の市町村の枠を越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援しています。

日頃から行われている市民の広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとつづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援制度とは？



1 対象

市民活動の一つの市町村だけでなく、複数の市町村で行う活動として、新たに広域的な市民ネットワークをつくってみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体

2 助成率及び金額

- ・助成対象事業費の60%（30万円が限度）
- ・助成期間は、連続する3年度の間で2回まで（ただし、1年度間で1回の支援が限度）

申請の主な要件は？

1 支援の対象となる主な要件

- ・多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、自立を目指していること。
- ・本拠地が多摩地域内にあり、活動区域が2以上の多摩地域の自治体である（志向している）こと。
※既に自立的な活動を継続して行っている団体、過去に当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。
※なお、今年度より、市民団体構成員の基準を緩和しました。下記「手引き」をご覧ください。

2 支援対象となる主な活動（事業）要件

- ・多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題を活動テーマとしていること。
- ・多摩地域全体の市民を対象とした活動（事業）であること。
- ・市民団体が主体的、創造的に取り組む活動（事業）であること。

※そのほかにも申請に当たっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。

制度の詳細は、多摩交流センターで配布している「2023年度広域的市民ネットワーク活動支援制度【活動支援】の手引き」、または、当調査会のホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) をご覧ください。「手引き」はホームページ内でダウンロードできます。

申請にあたっては、随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください（事業実施の2カ月以上前までにご連絡ください）。

※この制度は、当調査会の2023年度予算の範囲内での実施になります。

問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 企画課

東京都府中市新町 2-77-1 TEL 042-382-7781 受付時間：平日 9:00～17:00

「多摩交流センターだより」の問合せ先

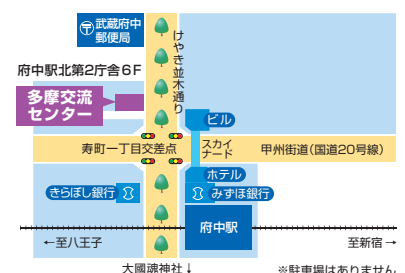
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





とっておき歴史発見

第30回 八丈町



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『八丈方言(島ことば)』と『島寿司』を紹介するよ。

八丈方言 (島ことば)



八丈島には「八丈方言 (島ことば)」という八丈島独自の方言があるよ。奈良時代の「万葉集」に同じ使い方があって、千数百年前に関東周辺で話されていた言葉がそのまま残っているんだ。しかし、話す人のほとんどは高齢者で若年者はほぼ話すことができないんだって。そのため、だんだん失われつつあるんだ。2009年にはユネスコにより、消滅危機言語の危険ランクに指定されたよ。現在、八丈町では保存・継承活動をすすめているんだ。

島寿司



八丈島の郷土料理の1つで、その時期に八丈島近海で獲れる魚を醤油漬けにし、やや甘めの酢飯(シャリ)で握るよ。ワサビの代わりに辛子をのせてあることが特徴なんだ。温暖な気候のため、長く保存するための工夫なんだって。

ネタは、魚以外に岩海苔を甘辛く煮たものもあるよ。古くから各家庭や、冠婚葬祭にも欠かせない食事として継承されてきたんだ。



【現地案内】

◆ 八丈島へのアクセス

《航路》竹芝桟橋から大型客船で約10時間20分

《空路》羽田空港から約55分

【情報・写真提供】

八丈町教育委員会 04996-3-7071



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

